

長野市の さらなる発展に向けて ～新議会開会～

議員定数が36人となって初めての市議会議員選挙が9月17日に執行されました。また、選挙後初の市議会臨時会が10月10日、11日に開催され、正副議長をはじめ、各委員会構成が決まり、新たな長野市議会が始動しました。

昨今の燃油をはじめとした物価高騰や温暖化の進行など、安定した市民生活に影響を与える状況が続いています。こうした中、住民に一番身近な市議会の役割はより重要さを増していますが、今回選挙の投票率は過去最低の37.32%でした。

私たちはこの結果を真摯^{しんし}に受け止め、議員一人ひとりがこれまで以上に市民の声に耳を傾け、その思いを行政に届ける決意であります。そして、知恵を絞り、長野市のさらなる発展に向けて全力で取り組んでまいります。

ながのご縁を  信都・長野市

ながの だより 市議会

令和5年
9月定例会
10月臨時会
NO.124

■主な内容

- ◆議長挨拶、新しい議会構成①…2
- ◆9月定例会・10月臨時会の審議内容…3～4
- ◆市政に関する質問の要旨…5～9
- ◆常任・特別委員会のうごき…10～11
- ◆新しい議会構成②……………裏表紙



12月のホームゲーム
(長野Uスタジアム)

トップチーム：テゲバジャーロ宮崎戦12/2(土)14時
レディース：INAC神戸レオネッサ戦12/9(土)14時



市議会臨時会

10月10・11日 開催

新しい議会構成①

10月市議会臨時会で決定した議長、副議長、委員会構成は次のとおりです。

※常任委員会の構成は裏表紙に議員の顔写真とともに紹介しています。◎委員長、○副委員長、他の委員の記載順は、座席番号の順による。

議長 西沢 利一 副議長 北沢 哲也

議会運営委員会

議長 西沢 利一 副議長 北沢 哲也

◎金沢 敦志 ○和田 一成 野々村博美
松井 英雄 鈴木 洋一 内藤 武道
手塚 秀樹 宮崎 治夫 小泉 栄正

特別委員会

子育て支援調査研究特別委員会

不登校児童・生徒への支援や子ども居場所づくりなど、子どもの権利を守るための施策について、調査・研究を行う。

◎寺沢さゆり ○桜井 篤 堀内 伸悟
原 ようこ 山崎 裕子 浅川 徹
佐藤 高志 市川 和彦 西脇かおる

中山間地域活性化調査研究特別委員会

過疎や高齢化で悩む中山間地域の現状をしっかりと捉え、移住・定住も含め、活性化に向けた施策について、調査・研究を行う。

◎小泉 栄正 ○東方みゆき 藤澤 紀子
阿出川 希 加藤 英夫 小泉 一真
野々村博美 和田 一成 金沢 敦志

公共交通対策調査研究特別委員会

交通空白地域の解消をめざし、オンデマンド交通の検証・拡大、市街地周辺の移動手段の確保などについて、調査・研究を行う。

◎宮崎 治夫 ○青木 敏明 内藤 武道
清水美加子 松田 光平 山崎 昭夫
滝沢 真一 本木 晋

水道事業広域化調査研究特別委員会

県及び三市一町で検討している上田長野地域水道事業広域化について、調査・研究を行う。

◎手塚 秀樹 ○箱山 正一 鈴木 洋一
和田 凌弥 松井 英雄 若林 祥
倉野 立人 黒沢 清一

議会報編集委員会

◎加藤 英夫 ○滝沢 真一 清水美加子
内藤 武道 山崎 裕子 本木 晋
西脇かおる 原 ようこ

新議員による新議会スタート

正副議長など新たな議会構成を決定

市議会議員選挙後初の市議会臨時会が10月10日から11日までの2日間開かれ、議会人事を決定するとともに、令和5年度一般会計補正予算案をはじめとした議案を審議し、原案どおり可決しました（4頁参照）。

新しい議会人事

9月17日執行の長野市議会議員選挙では、市民の期待を受けて三十六人の議員が当選しました。

議員改選後に開催された10月市議

会臨時会では、議長・副議長選挙が行われ、議長に西沢利一議員、副議長に北沢哲也議員が選出されました。また、委員会構成（下段と裏表紙に掲載）を決定するなど、新議員による新たな議会が活動を始めました。

開かれた議会をめざして

議長 西沢 利一

市民の皆様には、日頃から市議会に対し、格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

去る10月市議会臨時会において、議長に選出されました。その責任の重さに、身の引き締まる思いでございます。

超少子高齢・人口減少社会の到来により、国も地方も大きく変革する中で、地方の果たすべき役割が一層重要となっており、特に複雑化、多様化する市

民ニーズに的確に対応し、地域の良さを再認識してその価値を高め、安心して住み続けられる魅力と活力のあるまちづくりが不可欠であると考えます。

一方、依然として本市の財政状況は厳しく、人口減少社会への対応、子育て・子育て支援の充実、産業の振興、中山間地域の活性化などの課題が山積しております。市議会としても、これらの課題に立ち向かいながら、まちづ

くりの主人公は市民の皆様であること。を第一に、住んで良かったと思える長野市の実現のため、全力で取り組んでまいりたいと考えております。

今後も、より身近で開かれた議会をめざして議会改革を進めるとともに、行政の監視機能を強化し、市民満足度の向上に努めてまいりますので、市民の皆様には、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

市議会定例会

会期
8月3日
8月22日

9月市議会定例会が8月3日から22日までの二十日間の会期で開かれ、令和5年度一般会計補正予算などの議案を審議し、いずれも原案とおり可決しました（4頁参照）。補正予算など主要議案の概要について紹介します。

補正予算の内容

9月定例会で決定した一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれに二十五億七千二百二十二万一千円を追加し、一般会計予算総額は一千六百八十億三千七百三十八万四千円となりました。

主な内容は次のとおりです。

◆原油価格・物価高騰対策

住民税非課税世帯等冬季光熱費助成事業

住民税非課税世帯等の冬季暖房費に対する助成に要する経費が追加されました。（四億二、四〇〇万円）

子どもの体験・学び
応援モデル事業

子どもにも多様な体験・学びの機会を提供し、その体験プログラムの参加に利用できるクーポンの配布に要

する経費が追加されました。

（三億六、四六〇万円）

ながの子育て世帯
臨時特別給付金

食費等の物価高騰に直面している子育て世帯に対する特別給付金の支給に要する経費が追加されました。

（五億九、八六九万八千円）

◆災害復旧

道路・河川施設災害復旧事業

7月1日等に発生した大雨により被災した道路・河川施設の復旧に要する経費が増額されました。

（四億一、〇七〇万円）

◆その他

若者・子育て世帯等移住促進
家賃支援事業

移住・定住の意思をもつ若者や子育て世帯等への家賃の一部補助に要

する経費が増額されました。

（二、〇〇〇万円）

保育所等使用済みおむつ
処分事業

公立保育所におけるおむつ処分等に要する経費及び私立保育所等におけるおむつ収集箱等の購入に対する補助金が追加されました。

（一、八六二万九千円）

主な議案の内容

長野市立学校設置条例の
一部改正

令和7年度末をもって、長野市立

中条中学校を閉校することに伴い、改正されました。

長野市と小川村との間における
教育事務の委託

中条中学校の閉校に伴い、中条地区の中学生のうち希望する生徒が小川村立小川中学校に就学できるよう、教育事務を小川村に委託するための規約を議決しました。

財産の取得

消防若槻分署及び若穂分署に配備する高規格救急自動車二台及び高度救命処置用資機材二式の購入を、それぞれ議決しました。

インターネット上の誹謗中傷等の防止
及び被害者支援に関する条例案を可決

9月市議会定例会において、市議会議員が提案した標記条例案を審議し、全員賛成で可決しました。このような条例の制定は、県内で初めてです。

今やインターネットは、私たちの生活になくしてはならないものとなっていますが、誹謗中傷やプライバシーの侵害といった事象も発生し、大きな社会問題となっています。インターネットを正しく活用する能力がないと、誰もが意図せず加害者になる可能性もあることから、表現の自由に配慮しながらも、インターネット上の誹謗中傷やいじめなどの人権侵害を防止し、市民が安心して生活できるようにするため条例を制定したものです。

条例では、市の責務と市民及び議会の役割をそれぞれ定め、被害者や加害者を発生させないための施策と被害者を支援する施策の推進に取り組むこととしています。この条例の制定により、改めて、市民の皆様にも誹謗中傷等の人権侵害の問題に関し、理解を深めていただきたいと思います。

10月臨時会 審議結果一覧

※○=賛成×=反対
※議案名等の「長野市」「～について」等は一部省略して表記しています。

件名	会派別賛否							議決の状況	件名	会派別賛否							議決の状況					
	新友会	共産党	公明党	改革ネット	無所属A	無所属B	無所属C			新友会	共産党	公明党	改革ネット	無所属A	無所属B	無所属C		無所属D				
市長提出議案等(10件) 報告(7件)	議案(2件)	第90号	令和5年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	×	可決	報告	第43号	健全化判断比率の報告	○	○	○	○	○	○	○	報告月日 10月11日	
	第91号	監査委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	同意		第44号	資金不足比率の報告	○	○	○	○	○	○	○		
	認定(1件)	第2号	令和4年度一般会計、各特別会計決算の認定	-	-	-	-	-	-	-	継続審査	議会提出議案等(9件)	第19号	議長選挙	-	-	-	-	-	-	-	当選
	第38号	専決処分の報告(物損事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		第20号	副議長選挙	-	-	-	-	-	-	-	当選
	第39号	専決処分の報告(施設管理上の事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		第21号	特別委員会の設置	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第40号	専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		第22号	常任委員会・議会運営委員会閉会中継続調査申出	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第41号	専決処分の報告(国補榎花小学校東校舎長寿命化改修建築工事変更請負契約の締結)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		第23号	長野広域連合議会議員選挙	○	○	○	○	○	○	○	○
第42号	専決処分の報告(国補榎花中学校東校舎外長寿命化改修建築工事変更請負契約の締結)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	第24号	千曲衛生施設組合議会議員選挙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	当選
											第25号	須高行政事務組合議会議員選挙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	当選
											第26号	決算特別委員会の設置及び認定第2号の付託	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
											第27号	決算特別委員会閉会中継続調査申出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

会派名等	議員数	所属議員名										
新友会	17	小泉 栄正	寺沢 さゆり	西沢 利一	北沢 哲也	宮崎 治夫	和夫	次世代長野	2	和田 凌弥	内藤 武道	
共産党	5	野々村 博美	黒沢 清一	滝沢 真一	阿出川 希	佐藤 高志	無所属A	1	倉野 立人	無所属B	1	小泉 一真
公明党	5	松井 英雄	堀内 伸悟	清水 美加子	藤澤 紀子	浅川 徹	無所属C	1	山崎 裕子	無所属D	1	山崎 昭夫
改革ネット	3	鈴木 洋一	東方 みゆき	原 ようこ								

9月定例会 審議結果一覧

※○=賛成×=反対
※議案名等の「長野市」「～について」等は一部省略して表記しています。

件名	会派別賛否							議決の状況	件名	会派別賛否							議決の状況		
	新友会	共産党	改革ネット	公明党	無所属A	無所属B	無所属C			新友会	共産党	改革ネット	公明党	無所属A	無所属B	無所属C		無所属D	
市長提出議案等(37件) 議案(19件) 報告(16件)	第71号	令和5年度一般会計補正予算	○	○	○	○	欠	×	可決	市長提出議案等(9件) 報告(7件)	第24号	専決処分の報告(物損事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	○	報告月日 8月3日
	第72号	令和5年度国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	欠	○	可決		第25号	専決処分の報告(交通事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	○	
	第73号	令和5年度介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	欠	○	可決		第26号	専決処分の報告(施設管理上の事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	○	
	第74号	令和5年度産業団地事業会計補正予算	○	○	○	○	欠	○	可決		第27号	地方独立行政法人長野市民病院長の経営状況の報告	○	○	○	○	○	○	
	第75号	吏員年金及び一時金給与条例を廃止する条例	○	○	○	○	欠	○	可決		第28号	一般財団法人ながのこども財団の経営状況の報告	○	○	○	○	○	○	
	第76号	手数料条例及び旅館業法施行条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	欠	○	可決		第29号	公益財団法人ながの観光コンベンションビューローの経営状況の報告	○	○	○	○	○	○	
	第77号	長野市立学校設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	欠	○	可決		第30号	株式会社エムウェブの経営状況の報告	○	○	○	○	○	○	
	第78号	火災予防条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	欠	○	可決		第31号	一般財団法人長野市文化芸術振興財団の経営状況の報告	○	○	○	○	○	○	
	第79号	長野市と小川村との間における教育事務の委託	○	○	○	○	欠	○	可決		第32号	公益財団法人長野市スポーツ協会の経営状況の報告	○	○	○	○	○	○	
	第80号	財産の取得(高規格救急自動車)	○	○	○	○	欠	○	可決		第33号	専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	○	
	第81号	財産の取得(高度救命処置用資機材)	○	○	○	○	欠	○	可決	第34号	専決処分の報告(交通事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	○		
	第82号	市道路線の認定、変更及び廃止	○	○	○	○	欠	○	可決	第35号	専決処分の報告(物損事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	○		
	第83号	工事請負契約の締結(国補市営住宅返目団地24-2号棟全面改善建築工事)	○	○	○	○	欠	○	可決	第36号	専決処分の報告(物損事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	○		
	第84号	工事請負契約の締結(国補南向公園整備工事)	○	○	○	○	欠	○	可決	第37号	専決処分の報告(物損事故による損害賠償額)	○	○	○	○	○	○		
	第85号	工事請負契約の締結(県補柳原1号幹線排水路改修工事)	○	○	○	○	欠	○	可決	議会提出議案等(5件)	第14号	インターネット上の誹謗中傷等の防止及び被害者支援に関する条例(案)	○	○	○	○	欠	○	可決
	第86号	令和4年度産業団地事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	欠	○	可決	第15号	議会議員の請負の状況の公表に関する条例(案)	○	○	○	○	欠	○	可決	
	第87号	令和4年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	欠	○	可決	第16号	議会委員会条例の一部を改正する条例(案)	○	○	○	○	欠	○	可決	
	第88号	令和4年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	欠	○	可決	第17号	多文化共生社会に係る基本法の制定を求める意見書(案)	○	○	○	○	欠	○	可決	
	第89号	財産の取得(11t級除雪ドーザ)	○	○	○	○	欠	○	可決	第18号	学校給食費の無償化を求める意見書(案)	○	○	○	○	欠	○	可決	
認定(1件)	第1号	令和4年度各公営企業会計決算の認定	○	○	○	欠	○	認定	請願(3件)	第14号	多文化共生社会に係る基本法の制定を求める請願	○	○	○	○	欠	○	採択	
諮問(1件)	第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること	○	○	○	欠	○	同意	第15号	健康保険証の継続を求める意見書採択を求める請願	×	○	○	×	欠	○	不採択		
報告(16件)	第22号	専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)							第16号	小中学校の給食費の無償化を求める請願	×	○	○	×	欠	○	不採択		
	第23号	専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)																	

会派名等	議員数	所属議員名									
新友会	18	三井 経光	小林 義直	小泉 栄正	寺沢 さゆり	手塚 秀樹	公明党	4	近藤 満里	小林 秀子	
共産党	6	西沢 利一	北澤 哲也	金沢 敦志	宮崎 治夫	松田 光平	無所属A	1	小泉 一真		
改革ネット	5	若林 和彦	市川 正一	松田 一成	宮崎 治夫	青木 敏明	無所属B	1	小林 史子		
		加藤 英夫	箱山 正一	西脇 かつお	宮崎 治夫	青木 敏明					
		野々村 博美	阿部 孝二	佐藤 久美子	黒沢 清一	竹内 茂					
		滝沢 真一									
		鈴木 裕喜雄	塩入 学	鈴木 洋一	東方 みゆき	倉野 立人					

質問の要旨

9月定例会本会議では二十一人の議員が質問に立ち、市当局と活発な論議を展開しました。その中から主な質問の要旨を紹介します。

なお、この文章は、基本的に質問議員自ら作成しており、行数は発言時間に比例しています。

個人質問

新友会 北澤 哲也

問 住民自治協議会の市との協働によるまちづくりの仕組みについて、住民と市との適切な役割分担を実現すること、住民活動の量と質の見直しにつなげていくこと、住自協の声を聴きながら進めていくことを軸として見直すよう検討を始めている。市から見直し等の素案を示して進めていくが、具体的な見直し内容や再構築に向けた今後のスケジュールは

地域・市民生活部長 住民自治活動の量と質を見直していく方策として、地区ドックの実施について提案をした。これは、地区活動支援担当が住自協の組織や財政状況などに関する項目について全地区で点検し、改善策を提案するもの。都市内分権審議

会において、市のたたき台について意見等を集約し、ロードマップにまとめ、住自協に示し、遅くとも年内には決定していきたい。

問 中心市街地では大規模なマンション建設が計画され、居住人口が増加し活力向上が期待される反面、採算性のみを追求する乱開発とならないよう、行政がまちのあり方やまちづくりのビジョンを示し、良質な民間開発を誘導すべき。行政が担うべき役割について見解は

都市整備部長 民間事業者に対し、中央通りに面する建物の低層階への商業機能の導入や快適な歩行者空間の確保と良好な景観形成に寄与する建物のセットバックなどを申し入れ、事業計画に反映している。

問 物価高騰の影響が懸念されるが、学校給食費の今後の対応は
教育次長 保護者に負担を求めるとなく、臨時交付金を活用して公費負担することとし、質、量を保った給食を安定的に提供していく。

共産党 滝沢 真一

問 県は、ゼロ歳児から1歳児に国



体操をしたりトンネルをくぐったりして、ゼロ歳児、1歳児もたくさん身体を動かし遊んでいる

の基準以上に保育士を配置する私立保育所に対し、補助単価を引き上げて支援するとした。本市でも同様の対応を求めるが見解は

こども未来部長 現行制度では園児が入園するまでの間の給与が国の給付対象とならず、人件費の確保が困難。本市では、その間にゼロ歳児を担当する保育士確保のため、私立保育所に年五十一万円を限度に補助し、対応している。

問 県と長野市でどちらが保育士の補助が多いのか

こども未来部長 県と市の積算単価が違う。比較はなかなかできない。

問 市の1歳児の配置基準は5対1。県の配置基準は把握しているのか
こども未来部長 把握していない。

改革ネット 塩入 学

問 丹波島橋渋滞解消で、新橋を含む抜本的具現策等の求めに込んでいる。県は市の方針がないと進めないという。政治的決断を求めるが

市長 交通事情の変化等、判断材料を得るまでは、新橋建設は言えない。

問 川中島古戦場道の駅建設の地元要望を受けた具体的取り組みは

市長 トイレ整備、電気自動車対応を含む駐車場の拡張等、利用者ニーズの把握、将来的な財政負担等の課題も考えながら前に進めていく。

問 住民自治協議会の課題と区長等への支援策など、全体的な見直しは

市長 負担感や担い手不足が課題。地域のために頑張ろうという機運につながるような改善策を取りたい。

問 本庁舎のバリアフリー化の取り組み、全庁舎の実態と対応はどうか

総務部長 本庁舎は手すり、案内表



市役所庁舎内の通路案内表示。目的の用務先に足元の案内表示をたどれば到達できる

示等の改修を予定。本庁舎以外の市有施設は法定点検に併せて調査したい。調査費の予算化を含め検討する。

問 青木島遊園地廃止検証の目的は、委員構成が副市長、市長部局中心では公正とは言えず、公募による第三者に委ね、市民の不信を挽回すべき

市長 事務処理の内部検証と併せ、弁護士等による外部検証を行う。また、市民の意見を聴く必要性もある。

問 多様な市民の期待にリーダーシップと政治的決断で応える決意は

市長 決断と号令をかけることは大切。市民が暮らしてよかったと幸せを実感できる施策に全力を注ぐ。

公明党 近藤 満里

問 国がこども未来戦略方針を打ち出した今が子育て支援充実のチャンス。さらなる充実に向けての所見は

市長 自然と都市機能が調和し、オリンピック開催地という強みを生かした「子どもを大切にすまち長野」として積極的に取り組んでいく。

問 ながのこども財団への運営移行でニーズに合った運営を期待するが

こども未来部長 人員体制等の構築を進め、開館日数や時間を拡充、延長するなど、ニーズにしっかりと応えられるプラン事業を運営していく。

新友会 青木 敏明

問 県事業に引き続き、都市計画道路豊野北線の先線の事業化を要望する。市の整備方針は

都市整備部長 長野建設事務所による整備の進捗を踏まえ、継続して整備ができるよう検討していく。事業実施については、豊野駅周辺整備推進協議会のお力をお借りし、地区の皆様のご熱意を受け止めながら情報共有を図り、進めていく。

問 長野市産果樹ブランド化戦略の狙いは

農林部長 本市農業生産額約百九十億円のうち果樹は約九十億円で本市農業の主力。しかし、様々な果樹の産地とのイメージは十分浸透していない。今年度から五カ年計画で産地としての知名度をアップさせ、知ってもらい産地浸透化、継続的な販売や取引の機会を増やす産地定着化、そして最終的には高付加価値化によるブランドの確立に向けて取り組む。



東京都の青果市場で長野市産桃のトップセールスを行う荻原市長

新友会 松田 光平

問 子どもの体験・学び応援モデル

事業は、多様な将来の夢や職業を体験できると期待するが、その概要は

こども未来部長 市内全ての小・中学生を対象に、スポーツ、文化芸術など多様な体験ができるプログラムへの参加に利用可能な電子クーポンを、一人当たり一万円配布する。

問 茶臼山動物園や恐竜園への来場者が増加しているが、傾斜がきついので、休憩とパーベキューができる施設や園内交通の充実を望むが

都市整備部長 バーベキュー施設は、茶臼山エリア全体の魅力やサービスの向上につながるため、検討を進めている。園内交通については、まず恐竜園内に小型バスやパークトレインなどの運行ルートの検討を進める。

共産党 黒沢 清一

問 小・中学校の校舎、体育館などの老朽化に伴って、学校現場から出されている要望の実態とその改修の進捗状況は

教育次長 要望の内容は、雨漏りの修繕、遊具の改修、樹木の剪定など多岐にわたっている。児童の安心・安全、快適な学校環境、重要度、緊



長寿命化改修工事中の裾花小学校

急度といった観点から、優先順位をつけて判定し、改修につなげている。

問 学校給食の無償化は法的にも可能だ。市教育委員会も食育の重要性を強調している。学校給食の無償化を進めること、完全無償化が無理ならば、減免措置を進めるべきでは

教育次長 無償化にあたっては、大きな財源を新たに、かつ、継続的に確保する必要がある。無償化は、他の支援策とのバランスや優先順位などを考慮し、慎重に研究している。

無所属 小泉 一真

問 青木島遊園地廃止で、児童セン

ター利用児童の新たな遊び場として、青木島小学校中庭を6月の早い段階で利用すると市長は明言したが

市長 まだ利用していないが準備はした。施設職員の判断に任せている。

問 施設職員に責任を押しつけるな。市長の責任だ。事前にセンターへの意見聴取はどのように行ったのか

ことも未来部長 中庭の利用を施設職員に提案しているところだ。

公明党 堀内 伸悟

問 ヤングケアラー支援として、訪問型支援の充実が重要と考えるが

ことも未来部長 来年度から支援の対象者を拡大すること等を検討する。

問 有利な起債を活用し、避難所となる学校体育館等のトイレの洋式化や多目的トイレの整備が必要では

危機管理防災監 環境整備はまだ十分とは言えない。調査、研究したい。

新友会 小林 義直

問 放課後子ども総合プランについて、行政が様々な体験学習の機会を

提供する必要性を感じているが、ながのことも財団の方向性は

市長 私は、市長公約として子どもたちの夢を応援するまちを掲げ、子育て支援の充実に取り組んできた。

子ども・子育て環境の充実を図るためには、子どもたちがふだんの生活を送る学校を、もっと伸び伸び遊べたり、心地よい場所としたい。子どもたちが子どもとしてあるがままに大切にされ、自分を発揮できる環境をつくっていききたいと思っている。

そうした中で、長野市子どもビジョンの中で、子どもプラザにおいては、小学校、ながのことも財団と



市内の子どもプラザでの体験活動の様子

ともに、子どもたちに多様な体験・学びを提供し、個々の児童に適した支援を実施するなど、地域と連携しながら、子どもの健やかな育ちを支えていくこととしている。

新友会 桜井 篤

問 本市の地球温暖化対策に、新たにカーボンオフセットの仕組みを取り入れ、二〇五〇ゼロカーボンの実現をめざすべきと考えるが見解は

市長 地球温暖化の原因となるCO₂などの温室効果ガスは、日常生活や経済活動に伴って排出されるため、市民や民間企業が日々できることから取り組んでもらえるよう、カーボンオフセットについて研究を深めながら、さらなる地球温暖化対策の推進方針を検討していきたい。

共産党 佐藤久美子

問 美濃和田災害公営住宅での孤独死について、再発防止策はどうか

保健福祉部長 見守りが必要な被災者について、孤独死を防ぐため、まいさは長野市などと連携し、きめ細かい訪問を行うとともに、本人の同意を得た上で緊急連絡先を共有する

など、見守り体制を再確認していく。

問 マイナ保険証について、命に関わる健康保険証の廃止をやめ、紙の保険証を存続すべき。市長の見解は

市長 医療のデジタル化推進のため必要で国の方針に沿って進めていく。

新友会 西脇かおる

問 エムウエーブで子どもたちが日常的にもっと楽しめるよう、子どもの入場料を常時無料にするなど、思い切った施策を打ち出すべきでは

市長 本年度は、無料開放の事業に加え、子どもの体験・学び応援モデル事業を組み合わせて、子どもたちが気軽にスケートを楽しめる環境を整えていきたい。常時無料化については、実現に向けた課題は何かということをまず整理しながら、指定管理者と協議を進めていきたい。

公明党 松井 英雄

問 専業主婦家庭でも利用できる、こども誰でも通園制度を導入すべき

こども未来部長 本市においても利用対象となる家庭が多く存在するので、実施方法等について検討する。

※こども誰でも通園制度…全ての子育て家庭への支援を強化するため、就労等の保育要件によらず時間単位等で柔軟に保育所等を利用できることとする、新たな通園給付制度のこと

問 茶臼山エリアにドッグランを提案したが整備計画は

副市長 恐竜園を候補地として、現在検討を進めている。



川中島古戦場史跡公園内のドッグラン

改革ネット 布目裕喜雄

問 まちづくりアンケートの市民が求める施策優先度に応えられているのか。実績を強調するが、何ができていないのかを示し、課題解決の道筋を提起する誠実さ・真摯さを市長

の矜持にしてみたい。見解は

市長 市民ニーズに真摯に対応している。課題を把握し、政策形成につなげ、実現、改善するPDCAサイクルで取り組み、実現している。

問 公共施設の利用をはじめ市民サービスの有料化の拡大は市民の厳しい暮らし向きに鑑み、抑制的であるべき。行政サービスの利用者負担に関する基準を検証し、課題の整理を

市長 施設の更新・維持には多額の経費がかかり、利用者負担を願わせない。市民生活を考慮し、検討する。基準はコストや利用状況を分析し、課題を整理していく。

新友会 加藤 英夫

問 ヘーゼルナッツの生産や消費が日本一になるよう、需要を高めては

農林部長 市内外の機運醸成を図り、本市ブランドに成長するよう努める。

問 子どもの多い世帯へ医療費窓口負担のさらなる軽減が必要では

保健福祉部長 受給者負担金の段階的な見直しについて、多子世帯を対象とすることも併せて検討したい。

問 世界的な動きになっているSAF燃料について、本市の考えは

新産業創造推進局長 国の動向を注視し、関係部局と情報共有を図る中でどのような関与が可能か研究する。

※SAF燃料…持続可能な航空燃料(Sustainable Aviation Fuel)のこと。廃食油や木質バイオマスなどから製造されるため、二酸化炭素の排出削減につながる。

新友会 和田 一成

問 農村RMOによる中山間地域活性化について、市の連携及び支援は

農林部長 農村RMOの形式による戸隠地域づくり協議会が解決すべき課題は、本市にも共通の課題。庁内関係部局横断による連携や国・県とも連携し、協議会の活動を支援する。

※農村RMO…農村型地域運営組織(Region Management Organization)の略称。高齢化・人口減少の進行により、農業生産、地域資源保全、生活などの集落維持に必要な機能が衰退している中山間地域において、地域の生活や暮らしを守るため、地域で暮らす人々を中心となり、地域課題の解決に向けた取り組みを持続的に実践する組織のこと。

問 観光地におけるEバイクの積極的活用はどうか

商工観光部長 Eバイクの活用は、



戸隠展望苑を通るEバイク専用道路からは、戸隠連邦や北アルプスの雄大な眺望が広がる

市内だけではなく、周辺地域への周遊や滞在時間の延長が促され、地域の消費拡大、さらには持続可能な観光の実現にもつながることから、今後も積極的に活用していく。

※Eバイク：スポーツタイプの電動アシスト付き自転車のこと。

無所属 小林 史子

問 少子高齢化、人口減少などにより、外国人人材がますます必要とされる中、外国人住民の権利を守るための総合的な支援と、地域社会の一員として対等な関係で共に生きていくための取り組みは不可欠。アクションプランの策定が必要と思うが

市長 長野市人権政策推進基本方針は策定から十年以上がたち、見直しを検討中。この中で、国の議論を踏

まえ、具体的施策を再構築することが、アクションプランにも通じる。

共産党 阿部 孝二

問 市はシルバー人材センターに事業を発注している。会員との取引は個人事業者との取引になり、年間一千万円以下は非課税業者になる。適格請求書発行事業者以外の会員との取引を中止するのか。会員全員が適格請求書発行事業者でない場合、センターの消費税はいくらになるのか。増税分を市が負担するのか

商工観光部長 本市の契約において、適格請求書発行事業者でないことを理由に取引中止等の制限は考えていない。センターが負担すべき消費税は経過措置後、年間七千六百万円を見込んでいる。市はセンターの状況を鑑み、今年度の補助金を増額した。

※適格請求書発行事業者：税務署に申請して登録を受けた、消費税適格請求書（インボイス）を発行できる事業者のこと。

公明党 小林 秀子

問 死後の手続きを一括で行う「お悔やみコーナー」の開設時期は

地域・市民生活部長 先進地を見る

と予約制で手続きに精通した職員の対応が必要。来年度の開設をめざす。

問 市民が何を望んでいるか正確に把握するため、通話を録音し後に検証できるようにすることが必要では

市長 企業や公共団体で既に導入が始まっている。導入すべき業務や部署、コストなどを検討していきたい。

新友会 宮崎 治夫

問 元アスリートの就農活動に対し、市としてどのように支援するのか

市長 アスリートのセカンドキャリアの選択肢の一つとして、農業を選んでもらえるよう、農家とのマッチングや新規就農に向けた国・県・市の各種支援制度のPRなど、就農し



農業に従事する元プロスポーツ選手

やすい環境を整えたい。

問 市政運営にかける市長の思いは

市長 変化が著しい社会で、前例にとられず新たな発想やデジタルツールを活用し、チャレンジ姿勢で臨みたい。市役所全体が目的意識をもち、チームとして取り組んでいく。

問 スポーツを軸とした都市づくりへの市長の思いは

市長 スポーツがもつ無限の可能性を発揮することで、社会課題を解決し、地域の活性化を図るなど、スポーツを本市の基幹産業としたい。

問 保育園でのおむつの処分について伺う

こども未来部長 全市実施に向け、今後必要な調整を行いたい。

市議会本会議は、市ホームページの「長野市議会」の議会中継でご覧いただけます。常任委員会は、録音でご覧いただけます。また、本会議及び各委員会の詳細については、ホームページの会議録検索でご覧いただけます。



（注）9月定例会及び10月臨時会の本会議及び各委員会の会議録検索へのアップは、順次行う予定です。

審議結果については、4頁の審議結果一覧を併せて参照ください。

常任委員会のうごき

建設企業委員会

●都市部における雨水幹線や雨水調整池等の整備、山間地域における法面崩落防止など、近年の気候変動を踏まえた長野市全体の総合的な雨水対策に、関係各課と連携して積極的に取り組み、水害のない安全な都市の形成に取り組むよう要望した。

●現在、市営住宅には多くの空き家があり、中には利便性のよい場所に立地するものもある。入居を希望する多くの市民が早期に入居できるよう積極的に改修を進め、市営住宅の空き家解消を図るよう要望した。

●近年の夏は猛暑が続く、公園においても熱中症対策の必要性が高まっている。市においては、日陰・木陰



現在も市内各所で進められている雨水幹線整備工事

を増やしたり、ミストを活用するなど、熱中症対策を検討し、安全・安心に利用できる公園となるよう要望した。

総務委員会

●若者・子育て世帯等移住促進家賃支援事業補助金について、予想を上回る申請があったとのことだが、若者等が移住、定住することで地域の活性化も期待できるため、利用者への聞き取り調査等により状況の把握や分析をし、継続性を含め、より移住・定住の後押しにつながる制度の構築に向け、検討するよう要望した。

●長野市インターネット上の誹謗中傷等の防止及び被害者支援に関する条例について、昨今の社会情勢を踏まえると、早急な制定が求められる一方、議会、行政、市民の責務や役割が定められており、議会は市民の理解が得られるよう広く周知し、対話を重ね、誹謗中傷等をなくす努力をしていくべきとの意見が出された。

●資源再生センターで発生した火災への対応について、同施設では、過去にも同様の火災が発生しており、当時、通報の遅れによる被害の拡大が指摘されたため、消防局と環境部が連携して対応を検討し、監視設備

の充実や安全対策の強化、通報体制の構築など、あらゆる方策を講じたことで、今回は被害を最小限に抑えることができたとの意見が出された。

●請願第十四号は、全員賛成で採択すべきものと決定した。

福祉環境委員会

●住民税非課税世帯等冬季光熱費助成事業について、今後の物価の動向次第では、家計への負担がさらに増えることが懸念されるため、今後とも経済、物価の情勢を注視し、国及び県の動向を踏まえながら、状況に応じて適切な支援策が講ぜられるよう要望した。

●子どもの体験・学び応援モデル事業について、この事業の目的に沿った体験プログラムの基準の整備、種類の充実、子どもたちが主体的に参加したいものを選択できる制度設計にすること、さらに、クーポンの利用結果及び利用者と事業者へのアンケートを活用した効果測定と実証結果を踏まえた継続的な事業の実施を要望した。

●長野市資源再生センターの火災について、不燃ごみの中に発火の危険性があるものを混入させないことなど、改めて徹底した注意喚起を行い、

再発防止に取り組むよう要望した。

●請願第十五号については、賛成少数で不採択とすべきものと決定した。

経済文教委員会

●市は、地域経済の活性化や雇用の創出を図るため、篠ノ井駅西口ロータリー北側の土地の一部を産業用地として取得すること。

今後のスケジュールとして、接道確保等のための道路築造範囲を除く、三千四百十平方メートルを民間へ売却するため、公募を行うとの説明があった。

この公募にあたっては、その土地の特性を考慮した上で、土地売買契約の条件等をしつかり検討することを要望した。

●学校施設のトイレ改修については、現在、校舎や体育館の長寿命化改修工事や予防保全改修工事に併せて計画的に進められているが、まだトイレ環境が十分に整備されていない学校もある。

子どもたちの教育環境の向上に必要な財源を確保しつつ、快適なトイレ環境の早期整備を進めることを要望した。

●請願第十六号は、賛成少数で不採択とすべきものと決定した。

特別委員会のうごき

水道事業広域化調査研究 特別委員会

9月定例会では、この一年間の調査・研究において委員会が出された主な意見・要望等を集約し、次のように報告した。

●将来にわたって安心・安全な水道水を供給するための事業のあり方について、持続可能な経営体制等をめざした関係団体間の連携を強化し、さらなる検討を進めること。

●現在広域化を検討している五団体四事業体は健全経営を維持できているが、長野市上下水道局は、ほかの三事業体と比べて浄水場や配水池などの施設数が給水人口の割に多いため、水道事業を一本化する場合は、緊急時の対応も考慮した水道施設の最適配置をすること。

●水道事業の広域化は、将来起こり得る、人口減少による料金収入の減少、施設老朽化に伴う維持費用の増加、人材不足等の課題に対応し、水道事業を健全経営していくための有用な方策の一つであると考ええる。

災害対策等調査研究 特別委員会

9月定例会では、この一年間に委員会が出された意見等を集約し、次のように要望した。

●災害時、ボランティア活動の環境整備が必要なため、平時からボランティア団体等との情報交換を積極的に行い、緊急時に円滑な連携が取れる体制を整えていくこと。

●災害時に、真に避難支援を必要とする避難行動要支援者を正確に把握した上で、個々の避難計画作成を、地域の協力を得ながら市が責任をもつて着実に進めること。

●信濃川水系緊急治水対策プロジェクトに基づいた堤防強化等の事業が遅れが生じることがないように要望するとともに、地域の声を丁寧^{ていねい}に確認し、国・県に届けること。

●長野市災害復興計画に掲げられた「安全・安心の再生、なりわいの再生、にぎわいの再生」が進むように今後も被災者に寄り添った対応をすること。

観光戦略調査研究 特別委員会

9月定例会では、この一年間に調査、研究した中で出された意見等を集約し、次のように要望した。

●観光客と市民の双方にとって魅力ある地域づくりでは、中山間地域の人口減少が進む中でその魅力の伝承維持が課題であり、次の世代を担う人材育成として、他部局との連携、

情報交換を一層進めていくこと。また、市外居住者やZ世代の意見を多く取り込み、多様な人材を巻き込みながら市民とともに新たな本市の魅力や価値を生み出していく仕組みづくりを推進すること。

●インバウンド誘客では、重点ターゲットとする国や地域ごとで異なる流行を常に把握し、年代別等の細やかなニーズ分析を進めていくこと。

●人や自然、文化といった「ありのまま」を守り、生かし、そこに新しいアイデアを加えた魅力ある施策づくりを今後も継続し、持続可能な観光スタイルを確立すること。

公共交通対策調査研究 特別委員会

9月定例会では、一年間の調査・研究の中でも重点的に調査・研究を重ねてきたことに関して、次のよう

に要望した。

●信州新町地区では、AIを活用したオンデマンドバスしんまち号の実証実験が終わり、本格導入に向けての準備が進められているが、他の中山間地域へも早期にオンデマンドバスを導入することと、そのための準備を今から進めること。

●しんまち号の利便性が認識され利用者が増加する一方で、タクシードバスの減少傾向にある。オンデマンドバスの運行エリア拡大にあたっては、タクシード事業者等の経営を圧迫することがないよう事業者選定のあり方を検討するとともに、運行事業者等と十分な調整を行うこと。

●AIを活用したシステムについて、より多くの市民に利用してもらうこととでさらに多くのデータを蓄積し、システムの効果を高めていくこと。

長野市議会議員政治倫理審査会の審査結果について

本審査会は、電話等による問い合わせの様子を、対応職員の承諾を得ずにユーチューブでライブ配信した小泉一真議員の行為が、政治倫理条例で定める「議員が遵守すべき行為規範」に抵触するか否かについて審査を行い、本年2月の設置から11回の審査を重ね、当該行為は行為規範に抵触すると審査結果をまとめ、7月28日に議長へ報告しました。

この中で、講ずべき措置として、配信した動画の削除、以後の同様行為の禁止、対応職員に対する謝罪、議長からの嚴重注意の実施を勧告し、8月21日、議長は小泉一真議員に対し、これらの措置を講じました。

◆ 経済文教委員会

商工観光部、新産業創造推進局、文化スポーツ振興部、農林部、教育委員会、農業委員会に関すること。



前列 小泉 栄正
○青木 敏明
◎松田 光平
後列 藤澤 紀子
野々村博美
松井 英雄
市川 和彦
小泉 一真

◆ 総務委員会

総務部、企画政策部、財政部、地域・市民生活部、会計局、消防局、議会事務局、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員に関すること。他の常任委員会の所管に属しないこと。



前列 佐藤 高志
○西脇かおる
◎金沢 敦志
後列 鈴木 洋一
北沢 哲也
内藤 武道
浅川 徹
宮崎 治夫
山崎 昭夫

◆ 建設企業委員会

建設部、都市整備部、上下水道局に関すること。



前列 山崎 裕子
○加藤 英夫
◎若林 祥
後列 寺沢さゆり
和田 凌弥
清水美加子
和田 一成
本木 晋

◆ 福祉環境委員会

保健福祉部、こども未来部、環境部に関すること。



前列 倉野 立人
○堀内 伸悟
◎手塚 秀樹
後列 滝沢 真一
西沢 利一
箱山 正一
桜井 篤
阿出川 希
原 ようこ

新しい議会構成②

議長 西沢 利一
副議長 北沢 哲也

市議会には常任委員会と特別委員会が置かれています。10月臨時会では議長・副議長と各委員会の委員が新たに選任され、議会の構成も変わりました。正副議長と常任委員会の委員を、各委員会の所管事項とともに紹介します。

編集委員

委員長 青木 敏明
副委員長 東方みゆき
箱山 正一
西脇かおる
佐藤久美子
桜井 篤
小林 史子
近藤 満里

市内でガソリン価格が過去最高値を更新し、熱中症警戒アラートが連日発令された8月に開かれた9月定例会では、活発な議論を経て、長期化する物価高への対応、子ども・子育て支援等を盛り込んだ一般会計補正予算などの議案を可決しました。現編集委員での編集は今号が最後ですが、今号も議会の動向を分かりやすくお伝えしてまいります。

編集後記

11月30日(木) 本会議(会期の決定)
議案上程
12月1日(金) 5日(火) 休会
6日(水) 本会議(一般質問(代表))
7日(木) 本会議(一般質問(個人))
8日(金) 本会議(一般質問(個人))
9日(土) 10日(日) 休会
11日(月) 本会議(一般質問(個人)/議案質疑等)
12日(火) 委員会(福祉環境・建設企業)
13日(水) 委員会(総務・経済文教)
14日(木) 17日(日) 休会
18日(月) 本会議(採決)
●日程案は変更となる場合があります。
●「請願」「陳情」を希望する人は開会日まで提出してください。
●傍聴は開催当日、次のところまで受け付けます。
・本会議：第一庁舎8階(傍聴席入口)
・委員会：第一庁舎7階(議会事務局)
●乳幼児一時預かりサービスは、利用を希望する対象保育所等へ直接お申し込みください。手話通訳及び要約筆記サービスは、傍聴希望日の3日前までに議会事務局へお申し込みください。(いずれも無料)

12月市議会定例会 会議予定



長野市議会

検索

長野市議会ホームページ
https://www.city.nagano.nagano.jp/shigikai/index.html
E-mail: gikai@city.nagano.lg.jp

長野市議会事務局

〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地
TEL: 224-5057 FAX: 224-5105